



茨城の土木遺産

なか ぼし
央橋 (常陸太田市)

昭和12年(1937年)竣工

昭和12年に水戸と奥州街道を結ぶ旧棚倉街道(現国道349号)の里川に架設された。山紫水明の地に画期的な造形美を誇るローゼ橋(橋長34.0m、幅員6.0m)。今でも地域のランドマークとなっており、地元では、そのユニークな形から「めがね橋」の愛称で親しまれている。今から80年以上も前に美しいデザインを橋を架けたという事実に、地域の人々の街道に寄せる思いの深さを感じさせる。国登録有形文化財。平成22年度には土木学会選奨土木遺産に認定された。

主な内容

- ▼ 理事会で上半期事業・決算を報告
- ▼ 延べ1100名が鳥インフル防疫活動に尽力
- ▼ 経営企画委員会・土木委員会がDXなど勉強会
- ▼ 建設DX出前授業を実施

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

来年度は全土曜日が一斉休工

理事会で決議 上半期事業を報告

本会は11月18日、令和4年度の第5回理事会を水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催し、令和4年度上半期の実施事業や決算を報告しました。また週休2日へ令和5年度は全ての土曜日を県内公共工事の一斉休工日とすることを決議しました。

あいさつで石津健光会長は、かすみがうら市で発生した鳥インフルエンザについて、防疫作業に協力した会員企業を労いました。



石津会長

一方で、資材価格の高騰、働き方改革、生産性の向上、インフラDXへの対応など建設業界を取り巻く課題を指摘。特に時間外労働の上限規制が令和6年4月から適用されることに触れ、「早急な対応が求められており、業界全体で対応を検討している」と報告しました。

さらに多発している自然災害に対して「『地域の守り手』として地域建設業が果たしている役割と社会的使命は、ますます増大している。今後も災害時の対応に万全を期してまいりたい」と述べました。

報告された上半期の実施事業としては、国土交通省関東地方整備局や県土木部との意見交換会、本県で茨城・群馬・栃木三県建設業協会合同会議を開催。

経営改善事業では監理技術者講習会、現場代理人スキルアップセミナーなどを実施しました。

人材の確保・育成に向けては、毎月第1・第2・第3・第4土曜日を公共工事の一斉休工日として実施。建設業親子見学会、建設現場見学会、建設



上半期の実施事業などが報告されました

業インターンシップ、新規入職者研修も行いました。

地域貢献活動では、第7回の支部対抗チャリティーゴルフ大会を開催してチャリティー金を寄贈。

委員会活動では常設4委員会が意見交換会や研修会などを開催。舗装部会、建設未来協議会、建女ひばり会も活発に活動を推進しました。

議事では、株木建設(株)の株木貴史氏を参与に選任することを承認。

新規入会者として(株)三陽造園土木(城里町小勝、奥野成文代表取締役、水戸支部)の入会を承認しました。これにより本会の会員数は548社となりました。

また令和5年4月から、全ての土曜日を県内公共工事の一斉休工日に設定することも決議しました。

表彰受賞者へ伝達

おめでとうございます

11月18日の理事会後に表彰伝達を行いました。本年秋の叙勲で旭日双光章を受章した中川原勇氏（石塚産業㈱代表取締役）には勲章を伝達。

そのほか雇用改善優良事業所として県知事表彰に輝いた松崎里志氏（松崎建設㈱代表取締役）、勤労者退職金共済機構理事長表彰を受賞した大坂勇氏（大坂建鋼㈱代表取締役）と野口恵夫氏（㈱野口組代表取締役）にも表彰が伝達されました。



旭日双光章を受章した中川原氏



雇用改善優良知事表彰を受賞した松崎氏



勤退共理事長表彰を受賞した大坂氏
(左)と野口氏(右)

12支部から延べ約1,100人が協力 鳥インフルエンザ 防疫活動に尽力

かすみがうら市の農場で発生した高病原性鳥インフルエンザに対して、本会では11月5日から22日まで土浦支部を中心に12支部から延べ約1,100人が防疫活動を行いました。「地域の安全・安心の守り手」という地域建設業の社会的使命を果たすため尽力しました。

作業は3交代で実施。処分鶏の焼埋却処理などを行いました。

防疫活動は、茨城県と締結している「特定家畜伝染病発生時の防疫業務に関する協定書」に基づいて、県からの要請によって実施。

活動について石津健光会長は『「地域の安全・安心を守る』という本会の社会的使命を果たして



防疫作業に協力しました

くださった」と関係者の尽力に感謝を表しています。

防疫措置には県職員や市職員、団体など全体で延べ9,370人が従事し、102万5,687羽を殺処分・埋却しました。

DX推進へ勉強会

経営企画委員会・土木委員会

経営企画委員会（鶴田哲男委員長）と土木委員会（梅原基弘委員長）は12月1日、合同勉強会を水戸市の茨城県開発公社ビルで開催。時間外労働の上限規制への対応やBIM/CIMによるDXの推進などを研修し、理解を深めました。



鶴田経営企画委員長



梅原土木委員長

あいさつで鶴田委員長はICT施工や法改正への対応など、両委員会が所管する課題に対応するため合同勉強会を企画したことを紹介。

研修前には、茨城県土木部検査指導課の太田恒平係長が建設業の働き方改革や生産性向上への取り組みについて解説しました。

勉強会では、インボイス制度が建設業に与える



時間外労働の上限規制への対応などを勉強しました

影響と対応策、建設業の時間外労働の上限規制への対応を研修。BIM/CIMデータの作成と利活用については、今の若手が主力となる頃は3次元が当たり前となり、3次元への投資は人材の採用や定着につながることを研修しました。またIT導入補助金について内容や対象などを学びました。

最後に梅原委員長が総括コメントを行い、勉強会の内容の活用を呼び掛けました。

舗装技術講習会でICT研修



本会は日本道路建設業協会関東支部との共催で令和4年度の舗装技術講習会を11月11日に水戸市の茨城県立青少年会館で開催。道路管理の情勢やICT舗装工の活用について研修しました。舗装部会の秋山光伯部会長は道路保全には舗装が重要と強調し、「より技術を高めるため、講習を活かしていただきたい」と期待を寄せました。

BCPオンラインセミナーを開催



本会は11月22日、地域建設業における事業継続計画BCP（関東地方整備局による災害時の事業継続力認定）のオンラインセミナー（Zoomミーティング）を開催。新規申請と更新申請に分けて行い、認定を受けるために必要な書類審査や面接審査のポイント、訓練の行い方、策定しているBCPの課題の解決法などを研修しました。講師は(株)創成マネジメント建設業経営改善支援センターの宇野三四郎氏が務めました。

最新の動画も公開 WEBで経営者研修会

本会は茨城県土木部監理課と共に、令和4年度の建設業経営者研修会の内容（テキスト、動画）をWEB（監理課建設業担当のホームページ）で公開。動画については今年度に更新した内容も掲載しています。

テキストでは県内建設業の現状や県の入札・契約制度などについて紹介。

動画では、1人親方と社員の違い、工期ダンピング、中間前払金制度、法定福利費を内訳明示した見積書の活用促進について掲載。

昨年度に公開した動画も今年度版に更新しました。

内容は①会社の体制に変更が生じたときの手続き②CORINSの登録③建設業の生産性向上のための取り組み等④リサイクル法⑤建設業退職金共済制度⑥暴力団対策。

建設DXで「出前授業」、 ドローンや遠隔操作紹介



本会は11月18日、高橋建設工業(株)（高橋順子代表取締役、水戸支部）と「建設DX出前授業」を水戸市の双葉台中学校の1年生を対象に実施しました。ドローン操作やICT重機、遠隔臨場など最新技術を紹介し、操作体験も実施。建設業の魅力を発信し、入職促進につなげようと、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で開催しました。

建設未来協議会 DX活用へ意見交換会



建設未来協議会（鈴木達二会長）は11月21日、茨城県常陸太田工事事務所（木村政美所長）と県高萩工事事務所（小蘭江実所長）との意見交換会を開催。高萩・太田地区会員が参加し、活動状況報告、DXへの取り組みや働き方改革などについて意見を交わしました。須田要介地区幹事は「課題解決に向けて地域性などを踏まえて意見交換ができれば」とあいさつしました。

建設未来協議会 水府中で建設体験学習



建設未来協議会（鈴木達二会長）は11月8日、将来の担い手確保につなげようと常陸太田市立水府中学校で建設体験学習を実施。参加した2年生10人に重機の操作や測量など建設業の仕事を体験してもらいました。太田支部の梅原基弘副支部長は「建設業が職業選択の一つとなるよう、安全に楽しく体験してください」とあいさつしました。

水戸支部
活動報告

ICT推進へ 土工現場見学会



水戸支部（下田德行支部長）は11月1日、茨城県水戸土木事務所と共にICT土工の見学会を主要地方道大洗友部線のバイパス工事現場（茨城町蕎麦原）で開催しました。参加者はICT施工全般の説明を受けるとともにバックホウなどを操作して掘削工を体験し、理解を深めました。参加者からは「導入できる現場ではICTを取り入れたい」などの声がありました。

常陸大宮支部
活動報告

DXなど県と 意見交換会



常陸大宮支部（高野潔支部長）は11月22日、茨城県常陸大宮土木事務所（和田幸三所長）との意見交換会を支部会議室で開催。CCUSやICT施工導入などのDX活用、発注時期の平準化などについて積極的に意見を交わし、相互に理解を深めました。高野支部長は「新しい技術を積極的に取り入れていくことで、課題解決や変化に対応していきたい」と述べました。

常陸大宮支部
活動報告

CCUS普及で 講習会



常陸大宮支部（高野潔支部長）は11月1日、建設キャリアアップシステム（CCUS）普及に向けた講習会を支部会館で開催。CCUSの概要や利用手順、現場運用について学び、導入促進へ理解を深めました。本会経営企画委員会の鶴田哲男委員長は「講習を通じて理解を深め、各社の経営判断の参考にしていただきたい」とあいさつしました。

大子支部
活動報告

災害ゼロ推進 安全大会を開催



大子支部（大藤博文支部長）は11月21日、災害ゼロ推進安全大会を大子合同庁舎で開催。安全に関する講演や大会宣言を行い、安全意識の高揚と健康で安心して働ける職場環境の形成を誓いました。大藤支部長は「安全の基本は労働災害ゼロ。安全対策に完璧はなく必ず隙間がある。安全への意識を再認識いただき、労働災害ゼロで取り組んでほしい」とあいさつしました。

竜ヶ崎支部 活動報告 **経営者研修で 県と意見交換**



竜ヶ崎支部（細谷武史支部長）は12月1日、支部会館で経営者研修会を開催。茨城県土木部監理課・検査指導課と週休2日制や経営審査、入札・契約について意見を交換しました。監理課・検査指導課との意見交換は初めて。細谷支部長は「働き方改革が進む中で、ご指導いただける貴重な機会。勉強させていただきたい」と語りました。

筑西支部 活動報告 **事故防止へ 安全講習会**



筑西支部（小薬拓巳支部長）は11月22日、茨城県筑西土木事務所（井上和則所長）と第2回安全衛生講習会を支部会館で対面方式とWEB方式を併用して開催。「無事故八策」の講習や安全講話を通じ安全への意識を高めました。小薬支部長は「講話を聞いて心構えを持続し、健全な体を持続してほしい」などと呼び掛けました。

令和4年度 **茨城県技術者表彰受賞者** (11月表彰分) ※受賞者(企業名) 敬称略

【鹿島港湾事務所長表彰】

※監理技術者

- ◆鈴木俊介（常総開発工業(株)）
- ◆軍司勝利（(株)根本工務店）
- ◆坂本公志（(株)大地）
- ◆上田英輝（(株)飛田工務店）

※主任技術者

- ◆宮崎凌平（(株)二輝建設）

【県央農林事務所長表彰】

- ◆島立慈（東洋工業(株)）

- ◆岡崎貴夫（大平建設(株)）

- ◆大原隆行（(株)秋山工務店）

【県西農林事務所長表彰】

- ▼仁平大介（(株)仁平工務店）
- ▼野村幸雄（ライナー建設(株)）
- ▼小松崎洋（大同機工(株)茨城営業所）
- ▼飯塚章良（北條工業(株)）
- ▼山路弘智（(株)青木建設）

【高萩土地改良事務所長表彰】

- ◆千葉義彦（大北産業(株)）
- ◆鐵録朗（(株)高山建設）

【稲敷土地改良事務所長表彰】

- ◆門脇輝彦（細谷建設工業(株)）
- ◆古手優作（福智建設工業(株)）
- ◆三浦由知（櫻井建設工業(株)）
- ◆中島勇（栗山工業(株)）
- ◆木村進（増川建設(株)）
- ◆吉田要司（(株)サンヨウ建設）

知ってほしい、より安心の制度

法定外労災 補償制度 建設共済保険

お問い合わせ 公益財団法人 建設業福祉共済団

フリーダイヤル **0120 - 913 - 931**

URL : <https://www.kyousaidan.or.jp/>

掛金負担が軽減

手厚い補償

労働者と企業のリスクをカバー

建設フォトコンテスト 建設現場図画コンクール

優秀作品を展示



A部門最優秀賞「明日へとつなぐワンプレイ」



B部門最優秀賞「快風」

本会は、今年度のいばらき「建設フォトコンテスト」入賞作品、小中学生が描いた建設現場の図画コンクールの優秀作品を決定しました。これらの作品は12月5日から14日までイーアスつくば(つくば市)に展示。12月19日から12月28日まではイオンモール水戸内原(水戸市)の2階に展示しています。

フォトコンテストには全国から633点(郵送84件、WEB 338件、インスタグラム211件)の応募があり、入賞作品44点を決定。

最優秀賞は、A部門「建設のある茨城の風景」が萩原晃氏の「明日へとつなぐワンプレイ」、B部門「人と建設のつながり」が田上和喜氏による「快風」。そ

のほか特選8作品、準特選2作品、U 22 特別賞2作品、入選30作品を選びました。

上位入賞作品はイベントや公共施設への展示、ホームページやSNS等で配信しますほか、本会の令和5年カレンダーに採用します。

「建設現場を描いた図画コンクール作品展」は35回目。県内の小中学校生から630作品が集まり、最優秀賞5作品など入賞作品55点を決定しました。コンクールを通して建設業の魅力や社会的使命、役割を理解してもらい、「地域の守り手」として建設業に入職することが期待されます。

高校教員が建設現場見学



本会は国土交通省常総国道事務所と共に、農業土木学科を持つ県立高校の教員を対象とした東関東自動車道水戸線(潮来～鉾田)の建設現場見学会を11月29日に開催。進路指導を行う教員に社会資本整備の重要性や地域建設業の役割について理解を深めてもらうために実施。ICT土工や橋梁工の現場を見学してもらいました。



展示した図画の優秀作品

会員の動向

〈新規入会〉

▽水戸支部

(株)三陽造園土木

代表取締役 奥野 成文 しげふみ

住所 〒315-0042 城里町小勝718-2

電話 0296-70-6061